平成30年度　文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラム

外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革―死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築―」事業

外部評価委員会委員長	恒石　美登里　先生	日本歯科医師会･日本歯科総合研究機構･主任研究員

	5段階評価
評価項目	**悪い　1　・　2　・　3　・　4　・　5　良い**
事業計画の妥当性	悪い　1　・　2　・　3　・　4　・　[5]　良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い　1　・　2　・　3　・　4　・　[5]　良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い　1　・　2　・　3　・　4　・　[5]　良い
事業費の使途に問題はないか	悪い　1　・　2　・　3　・　4　・　[5]　良い

総評（300 字以内）

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」事業では、口腔のみならず全身健康に寄与でき、高齢者に寄り添える歯科医師教育を目標として 5 年間実施されました。岡山大学以外にも 8 大学が参加し、これまでにはない形での教育体制が構築されつつあることが確認できました。また、大学同士のジョイントを行うことで、学生だけでなく教員等への良い刺激になる可能性も示されています。

高齢化に伴い、歯科医療提供体制も大きく変革する中、現時点での教育を急速に変化させることは急務であり、既卒の歯科医師への教育も含めた意識変革が求められており、今回の事業で構築された資料等を更に活用できる方策の検討も必要であると思われます。

平成30年度　文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラム

外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革―死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築―」事業

外部評価委員会委員	菊谷　武　先生	日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック院長

	5段階評価										
評価項目	**悪い**	**1**	**・**	**2**	**・**	**3**	**・**	**4**	**・**	**5**	**良い**
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	[5]	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	[5]	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	[5]	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	[5]	良い

総評（300 字以内）

事業開始当初掲げた目標の多くを達成したことに敬意を表したい。各大学は、法人主体、立地、他学部の存在やその関係、学部内の既存カリキュラムの問題など、それぞれの異なった事情がある中で、多くの目標を達成できたことは、他学にとって今後の参考になろうかと思います。ぜひとも、広く経過や今も残る課題等も含めて共有いただきたく思います。

平成30年度　文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラム

外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革―死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築―」事業

外部評価委員会委員	東口　高志　先生	藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座教授

	5段階評価									
評価項目	**悪い**	**1**	**・**	**2**	**・**	**3**	**・**	**4**	**・**	**5**	**良い**
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い

総評（300 字以内）

本プロジェクトはわが国の高齢化に伴う医療・福祉・生活支援体制の強化に関する事業であり、妥当というよりも必須のものと感じております。実施体制は年々充実しており、成果についてはオーラルフレイルや口腔ケアを中心に十分な実績を積まれていると思います。しかし、事業主題でもある死生観については終末期に関連する実習生への取り組みなども積極的に行っておられますが、さらなる充実が望まれます。また、在宅診療との連携は、地域包括の立場からも望ましい進展が見られていると思います。医師との連携推進も引き続きご尽力していただきたい項目です。結果として、素晴らしい人材育成体制が確立されているように感じております。

平成30年度　文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラム

外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革―死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築―」事業

外部評価委員会委員	葛谷 雅文 先生	名古屋大学地域在宅医療学・老年科学分野 教授・未来社会創造機構教授

	5段階評価
評価項目	**悪い　1　・　2　・　3　・　4　・　5　良い**
事業計画の妥当性	悪い　1　・　2　・　3　・　4　・　(5)　良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い　1　・　2　・　3　・　(4)　・　5　良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い　1　・　2　・　3　・　(4)　・　5　良い
事業費の使途に問題はないか	悪い　1　・　2　・　(3)　・　4　・　5　良い

総評（300 字以内）

大学ごとに地域性を考えた教育プログラムが遂行できている。特に地域包括ケアモデルに関しては都市部であれ地域の住民（特に高齢者）と、また他の医療機関、また多職種との連携に何らかの接触ができる機会を提供することが重要であり、多くの大学でそれが実施できていた。

平成30年度　文部科学省　課題解決型高度医療人材養成プログラム

外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革―死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築―」事業

外部評価委員会委員	熊倉　勇美　先生	医療法人社団和風会　千里リハビリテーション病院・顧問 島根大学医学部歯科口腔外科学講座・臨床教授

	5段階評価										
評価項目	**悪い**	**1**	**・**	**2**	**・**	**3**	**・**	**4**	**・**	**5**	**良い**
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い

総評（300 字以内）

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」のための本事業は、立派な成果を収められたと思います。何よりも連携大学歯学部の授業・実習の均てん化達成状況が、当初の予想を大きく超えたことが、それを示しています。事業費の使途にも問題はないと思われます。今後は、全国 29 校における更なる均てん化が求められるでしょうし、１）卒後の歯科医師の再教育　２）在宅歯科医とリハの連携などが大きな課題と考えられます。地域包括ケアの中で「栄養と生活」を考える時に、「摂食嚥下障害」ばかりでなく「コミュニケーション障害」を含めて、歯科医師と言語聴覚士の積極的な関わりも、今後ぜひ加えていただければと思います。